

桜診断一覧

診断指導：石井誠治樹木医

*：地上高1.3mの位置の胴周囲(H24⇒H25⇒H26⇒H27⇒H28⇒H29)

| 区設定 コード | 石井樹木医 判定 [A → C] (良)→(悪) | 平成28年 精密診断によ る腐朽率[空 洞率](%) | 平成29年 1月～2月の 処置 | 平成29年2月観察結果とその後の処置等 |
|------------|-----------------------------------|-------------------------------------|-----------------------|---|
| 1 | B | | | ・歩道側(東側)の根が無い。 ・倒木の危険はある。 ・Cランクに近い。 ・上部は元気でも、下部は弱っている(コブ病がある)。 |
| 2 | A | 47 | 上部剪定 | ・30年未満の桜である。 ・風の影響で多少ねじれはあるが、良好。 ・根は元気。 ・枝にコブ病がある。 |
| 50 | A | | 植替え | ・2017年1月移植。 [ジンダイアケボノ]⇒神代植物園に原木がある、テングス病に抵抗があるといわれる。 ・*胴周囲27.5cm(H29) |
| 49 | B | 65 | 上部剪定 | ・風の影響で幹がねじれている。 ・若くて良い枝が出ている。 |
| 48 | B | 63 | 上部剪定 | ・車の衝突跡があるが、全体的に生命力がある。 ・サルノコシカケやシロアリがみられるが、根はしっかりしている。 |
| 47 | *** | | | ・2013年7月伐採(駐車場出入り口に近いため植え替えはしない)。 |
| 46 | A | | | ・4、5年前に比べ幹は太くなっている。 ・10年前に比べ凹凸が多くなっている。 ・ヤマザクラ系エドヒガン系の桜は上部の若い部分は横シマで、下部は縦シマになっている。 |
| 45 | A | 49 | 上部剪定 | ・樹齢60年以上。 ・不定根で再生中。 ・樹勢は問題ないが、樹形が悪く、折れやすい(危険木)。 ・先端はコブがあり、次回の剪定時には処置する(コブの生体は不明)。 |
| 44 | A | 35 | | ・2本の枝で共生の形。 ・状態は以前よりも良くなっている。 ・不定根が弱い。 |
| 3 | A | | | ・2015年11月26日移植。 ・[ジンダイアケボノ] ・*胴周囲15(H28)⇒19cm ・2016年9月名板設置。 |
| 4 | B | | | ・[オオシマザクラ] ・壮年期の桜。 ・Bランクに降格。 ・何らかの病状が出はじめています。 ・*胴周囲116⇒122⇒128⇒134⇒137⇒137.5cm |
| 5 | *** | | | ・2007年ナラタケモドキによって根株腐朽し枯死。 |
| 6 | A | | | ・とくに問題はない。 ・2016年6月16日植樹を改良。 |
| 7 | A | | | ・2015年11月27日植樹を改良。 ・先端部の枝に悪い部分があるが、全体的に大きな問題はない。 ・*胴周囲160⇒161⇒162.5⇒165⇒166⇒167cm |
| 8 | A | | | ・不定根が育っている。 ・とくに問題はない。 |
| 9 | A | 58 | 上部剪定 | ・樹形は悪いが、不定根が土に下りて問題はない。 ・戦前からの桜の可能性有り。 ・樹高が低く、根もしっかりしているが、腐蝕もあり、やや危ない木となりつつある。 |
| 43 | A | | 植替え | ・2017年1月移植(樹齢は6～7年)。 ・[ジンダイアケボノ] ・*胴周囲29cm(H29) |
| 42 | A | | | ・2011年12月15日移植。 ・*胴周囲21.5⇒25.5⇒34⇒39⇒44⇒48.5cm |
| 41 | A | | | ・2016年2月3日移植。 ・[ジンダイアケボノ] ・葉芽が多く、花芽は少ない。 ・*胴周囲11(H28)⇒15cm ・2016年9月名板設置。 |
| 40 | A | | | ・2013年8月伐採。 ・2014年3月14日移植。 ・健全。 ・花芽は多い。 ・成長が楽しみである。 ・樹種はオオシマザクラを主としたヤマザクラ系の「シロタエ」。 ・*胴周囲18(H27)⇒20⇒23cm ・2016年9月名板設置。 |
| 39 | A | | | ・枝ぶりも良く元気である。 ・苔が多いが、問題はない。 ・とくに苔は湿気がある北側に多い。 |
| 38 | A | 35 | | ・不定根はあるが、良いものは少ない。 |
| 51 | A | | | ・2005年11月移植。 ・幹の曲がり方が将来的には心配。 ・*胴周囲45⇒52⇒62.5⇒68.5⇒74⇒79.5cm |
| 10 | A | 37 | | ・樹形は悪いが、樹勢は良好。 ・不定根が良く育ち、幹がよみがえっている。 |
| 11 | A | 21 | | ・樹勢はとくに問題はない。 ・2016年6月16日植樹を改良。 |
| 12 | A | | | ・幹は太くはないが、とくに問題はない。 |
| 13 | A | 49 | 上部剪定 | ・コブが出ており、樹勢が弱くなりつつある。 ・根はのたうちまわっている。 |
| 14 | A | | | ・2005年11月移植。 とくに問題はない。 ・枝葉がだいぶ増えてきた。 ・*胴周囲38.5⇒44⇒53⇒59.5⇒65⇒73cm |
| 15 | B | | | ・回復途中。 ・若い割にコブがあり、イメージは悪い。 ・*胴周囲75(H28)⇒77cm |
| 16 | *** | | | ・2013年7月伐採。 |
| 17 | A | | | ・2005年11月移植。 とくに問題はない。 ・幹の途中から下は桜肌が無い(エドヒガンの樹皮のようだ)。 ・*胴周囲39⇒43⇒55⇒57.5⇒59⇒60cm |
| 37 | C | 30 | | ・根元にナラタケモドキがあり、腐朽が進んでおり、活力がない。 ・枝の先端が細く垂れている。 ・陽が当たりにくいのも原因か。 ・最も危険な桜。 |
| 36 | B | 54 | 上部剪定 | ・Bランクに降格。 ・陽当たりが悪く、樹勢が衰える。 |
| 35 | *** | | | — |
| 34 | A | | | ・内部に若干問題が出はじめています。 |
| 33 | *** | | | — |
| 32 | A | | 植替え | ・2017年1月移植。 ・[ジンダイアケボノ] ・2017年に移植した3本の中では最も元気がない。 ・*胴周囲25.5cm(H29) |
| 31 | A | | | ・先端の枝は勢いがある。 ・コブがあるが良性。 ・根元は露出しているが、元気である。 |
| 30 | C | 11 | | ・良い枝が少ない。 ・幹にはコブキサルノコシカケがある。 ・北側部分のみ生きており、No.37に次いで危険。 |
| 18 | A | 23 | | ・樹勢はとくに問題はない。 ・不定根で幹を守っている。 |
| 19 | A | 58 | 上部剪定 | ・良い根が多く出ている。 |
| 20 | B | 56 | 上部剪定 | ・戦前からの桜(?)。 ・枝切り後であるが、あまり元気ではない。根はしっかりしている。 |
| 21 | A | 31 | | ・樹勢はとくに問題はない。 |
| 22 | A | | | ・以前ひこばえが白化した。 ・No.23の勢いに負けている。 |
| 29 | A | | | ・2013年3月移植。 ・土壌と陽当たりが悪く、あまり育っていない。 ・*胴周囲17.5(H27)⇒19.5⇒23cm |
| 28 | B | 53 | 上部剪定 | ・全体的にバランスが悪く、幹が道路側に傾く可能性がある。 |
| 27 | B | 52 | 上部剪定 | ・道路側の折れた枝から伸びた新枝は太くなってくると危険。 ・要経過観察。 |
| 26 | B | 36 | 上部剪定 | ・初代に近い頃の桜。 ・亀裂がある。 ・周辺の建物の影響かもしれないが、傾きが以前より多くなっている。 |
| 25 | B | 47 | | ・初代並木の数少ない残存木。 ・空洞があり多少ピンチだが、根はしっかりしており、倒木の危険は少ない。 |
| 24 | A | | | ・将来的にNo.25のように空洞は出来るが、全体的に樹勢は良い。 ・良い枝があり、根も元気である。 |
| 23 | A | | | ・西側に亀裂があるが、とくに問題はない。 ・樹皮からみて20数年の桜か。 ・*胴周囲○⇒108⇒113⇒118⇒124⇒128cm |

間隔が狭い